

# 科学の面白さ知って 鹿嶋 清真学園高生が出前工作

地域の子どもたちに科学への関心を高めてもらおうと、清真学園高（飯山克則校長）の生徒たちが12日、



鹿嶋市宮中のショッピングセンター「チェリオ」で、出前工作を開いた。指定を受けているスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の一環。この日は教育・医療ゼミで学んでいる6人が講師役となり、ビニール製の化石レプリカと、偏光板ステンドグラス製作を指導した。

科学の面白さを伝える清真学園高生＝鹿嶋市宮中

製作に入る前には、子どもたちに「化石って何？」「地球はいつできたか」「化石から分かることは」などと質問。さらに三葉虫やアンモナイトについても解説した後、この二つのレプリカ製作を指導した。短冊状のビニールをお湯で軟らかくした後、型にはめ込み、化石レプリカと一緒に完成させた。偏光板ステンドグラス作りでは、2枚の偏光板の間のプラスチックに自由にゼロハンテープを切り重ね、光の波の性質を教えた。

指導に当たった2年の坂本唯斗さん(16)は「科学を身近に感じてもらいたかった。なるべく易しい言葉で説明しようと思った」と振り返った。(小池忠臣)